



「2人目の赤ちゃんが生まれます。産休、育休をとり、医大でずっと働きたい！」

福田菜々美さん（医大病院係員）が香芝市立下田小学校で報告

～香芝市特別支援教育研究会研修会～ 8月20日 香芝市立下田小学校



福田菜々美さん（中央）



香芝市内保育園、幼稚園、小中学校の先生方の特別支援教育研修会が開催されました。

NPO法人ならチャレンジド理事長赤川義之の講演、そして県立医科大学附属病院で就労している福田菜々美さん（下田小学校、高等養護学校卒）が岡山弘美医大障害者雇用推進マネージャーのインタビューで思いを語りました。

福田さんは医大で就労する決意、職場でしんどかったことや楽しかったこと、2人目の妊娠からお産、育児への強い思い、最後に支援者へのお願いを語りました。

「医大で働き始めて6年目になります。最初は学内保育園で保育補助をしていました。今は婦人科病棟の看護補助です」

「しんどくて仕事をやめようと思ったとき岡山係長が話を聞いてくれたので、続けて働こうと思いました。また、初めて妊娠したときも相談にのってくれ、応援してくれました」

「仕事はお給料をもらっているので大変なことが多いです。楽しく仕事ができています」

「もうすぐ2人目の赤ちゃんが生まれます。また、産休育休をとって復帰して、ずっとこの医大で働きたいと思っています」

「支援者の方は人によって態度を変えないでほしいです」

福田さんの報告から、ひしひしと伝わってきます。安心できる居場所があり、信頼され、認められる（評価される）ことが何よりも大切であり、“継続して働く力”となっています。

当事者本人の思いは、参加された先生方の心に響き、教育の糧となったでしょう。

村田崇副知事、末光大毅県総務部長が医大病院を視察

～障害者の就労現場～

9月3日、4日



村田崇副知事（9/3） 〈病理部〉



末光大毅県総務部長（9/4） 〈集中治療室〉



〈中央タオル部〉



〈口腔外科病棟〉



〈中央タオル部〉



〈口腔外科病棟〉

村田崇副知事、末光大毅県総務部長は、県立医科大学附属病院の障害者就労現場（病理部、集中治療室、口腔外科病棟、中央タオル部等）を約2時間にわたり、視察されました。

現在、40名の障害のある係員は病院内の全ての部署（26か所）で活躍されています。

【病理部】

係員は病理検体を清掃し番号順に正確に整理しています。数字に強く、几帳面な係員はスーパーマンのようです。「係員はなくてはならない存在で、とても助かっています」（副技師長）

【口腔外科病棟】

高等養護学校卒業の係員2人（先輩、後輩）は、力をあわせてベッドメイキング、環境整備等の看護補助業務を担っています。

「患者さんのために、一緒によりよいケアをしていく貴重な仲間です」（看護師長）

【集中治療室】

大淀養護学校卒業の係員は容器の洗浄、環境整備を丁寧にしています。ほんわかと挨拶する係員は雰囲気や和まします。

「環境整備をきっちりしてくれ、係員がいることで職場のみんなは癒されます」（看護助手）

【中央タオル部】

係員4人～5人は病院で使用するタオル約3千枚を毎日折っています。ここで就労する基準は、1時間あたり100枚折れることです。プロの手の速さに驚きです。

村田副知事、末光県総務部長は、障害のある係員が細かな作業、根気のいる作業等をコツコツと行なっている姿に感心されていました。また、係員が医療従事者から頼りにされている“いい関係”を現場から感じ取られたようです。ご多忙の中、ありがとうございました。



医大病院で活躍する40人の係員

職場実習

銀行、福祉施設、カフェで取り組んでいます

～ 事業所のみなさま

ありがとうございます! ~



なんとチャレンジド (株) 6/17~28
高等養護学校3年生【実習】データ入力等



なんとチャレンジド (株) 9/26~10/9
高等養護学校3年生2人【実習】発送業務等



奈良市和楽園 7/29~8/9
高等養護学校3年生【実習】清掃業務



奈良市和楽園 8/19~23
高等養護学校3年生【実習】清掃業務



奈良交通サンマルク学園前店 7/25~26
奈良西養護学校2年生【実習】パンづくり他



奈良交通サンマルク学園前店 8/5~6
奈良西養護学校2年生【実習】パンづくり他

♪ 地元へ帰ろう ♪

生徒はいきいきと
地域活動をしています



第101回全国
高校野球奈良大会
始球式 7/16
県立橿原公苑野球場
奈良養護学校3年生
写真:朝日新聞社提供



課題別人権教育研修講座 B

8/1 奈良県文化会館 【講師】山口歩さん「もしも願いが叶うなら ~自閉症の息子たちのおもしろ子育て奮闘記~」
【受付】奈良西養護学校生徒3人 【表紙】書:山口悠生さん、絵:山口真生さん(奈良西養護学校高等部)



第44回 わたぼうし音楽祭

8/4 奈良県文化会館
【受付】奈良東、奈良西、高等養護学校生徒、卒業生 14人



第52回 奈良県人権教育推進協議会研究大会

9/21 かしはら万葉ホール
【受付】大淀、高等養護学校生徒 3人



第25回 ならヒューマンフェスティバル 10/5 三郷町文化センター

【ゆるキャラ、受付】西和、高等養護学校生徒、卒業生 10人



第39回アビリンピック（全国障害者技能競技大会）へ出場

11/15～17 愛知県 【主催】独立行政高齢・障害・求職者雇用支援機構、愛知県



平井康之王寺町長 10/10

氏部昌仁選手【喫茶サービス】
（高等養護学校2年）

選手たちは、地元町長、市長へ出場と意気込みを報告しました。



吉田弘明香芝市長 10/16

安達芽衣選手【ワードプロセッサ】
（なんとチャレンジド株式会社）



仲川げん奈良市長 10/16

形木原歌音選手【オフィスアシスタント】
（奈良東養護学校高等部2年）

森田優輝選手【ビルクリーニング】
（高等養護学校2年）

差別をなくす強調月間 市町村民集会

～24市町村民集会で特別支援学校生徒43人が受付、司会～



奈良市 7/13 奈良、奈良西養護学校生徒



生駒市 7/13 奈良西養護学校生徒



大和郡山市 7/18 奈良、奈良東養護学校生徒

第7回 特別支援学校アート展 in ならちゅうしん

10/28(月)～11/15(金) 奈良中央信用金庫本店 【作品】明日香、西和、高等養護学校生徒、卒業生



「気が短いサラリーマン」榎葉勇輝さん 高等養護学校3年(左)

水彩画「夏に戻りたい」松本凱斗さん 高等養護学校2年(右)



「カレンダー
2020年11月」
岸本亜矢子さん



「パソコンで描きました」祭原良介さん 西和養護学校高等部3年

奈良中央信用金庫

祝 第22回信用金庫社会貢献賞「会長賞」を受賞

受賞活動：特別支援学校との交流・協働



佐藤浩二全国信用金庫協会長（左）から表彰される高田知彦理事長（右）

去る6月19日、東京で全国信用金庫協会総会が開催され、第22回「信用金庫社会貢献賞」の表彰が行われました。

全国の568ある活動の中から奈良中央信用金庫の「特別支援学校との交流・協働」が最高の栄誉である「会長賞」を受賞され、佐藤浩二全国信用金庫協会長から高田知彦理事長へ会長賞の盾、ブロンズ像が贈呈されました。誠にありがとうございます。

2012年（H24）、当法人が橋渡しとなり、特別支援学校との交流が本格化し、以来、生徒のクリーンキャンペーンへの参加、同金庫経営研究会総会の受付係、同金庫本店ロビーでの特別支援学校アート展等を継続して実施しています。

また、アート展で出会った岸本亜矢子さんを同金庫は全面的に応援され、岸本さん作製のカレンダー購入をはじめ、2016年からは毎年、岸本さんの作品をお客様サービス品として採用。昨年は、同金庫創立70周年記念事業の一環として岸本さんデザインの70周年記念定期通帳を発行されました。「キラリと輝く！特別支援学校アート展」、「特別と病院を結ぶ！奈良県立医科大学附属病院アート展」へ昨年に引き続き本年も特別協賛（30万円）していただきました。

このような同金庫の地道な取り組みが表彰されたようです。

村田崇副知事へ受賞の報告

7月10日 県庁副知事室

【訪問者】奈良中央信用金庫

高田知彦理事長、水上和要業務推進部上席専任役、磯野博崇事務部副部長



村田崇副知事（左から2人目）

高田知彦理事長らは村田崇副知事を表敬訪問し、第22回信用金庫社会貢献賞「会長賞」受賞の報告をしました。

村田副知事は「地域に密着した活動が根つき、素晴らしい成果につながっています」と称賛されました。

高田理事長は「全国568の応募の中から草の根的な活動が認めていただいております。今後もずっと継続していきます」と今後の抱負を述べました。

プロバスケットチーム **バンビシャス奈良選手と交流!**

7/30 橿原市中央体育館 【参加】大淀、西和、高等養護学校生徒、卒業生9人



生徒、卒業生たちは選手からサイン、握手をしていただき大喜びです。

バンビシャス奈良 試合の受付活動

10/6、27 奈良市中央体育館、橿原公苑第一体育館 奈良西、高等養護学校生徒、卒業生



生徒、卒業生たちは、地元チームバンビシャス奈良を応援しています。

よく噛んで健康に シリーズ 4

よく噛むことが「がん」の予防に？

ご存じのように日本人の死亡の原因の第一位は「がん」です。

食事が「欧米化」されて、もともとのお魚中心の日本食が少なくなり、お肉中心でソースやドレッシングの濃い味付けも原因と考えられています。特に、お肉などの焦げた部分には「発がん物質」があるのでできれば避けましょう。

でも、昔からさんまの焦げたところは美味しいのでかえって好まれて食べられていましたよね。

では何故、昔の日本人の多くの人に「がん」ができなかったのでしょうか？

実は昔の人はよく噛んでいたからなのです。30回噛んでお肉を唾液にしっかりつけることで発がん物質が減ることもわかっています。

野菜やお魚、お肉をバランスよく食べる。ただし薄味で、よく噛むことによって、がんの予防だけでなく、肥満の予防、全身の健康にも大きく関係しています。



執筆は正田歯科院長（橿原市）です。次回は「むし歯になりにくいおやつの食べ方」です。



赤い羽根共同募金運動オープニングセレモニー

10月1日 近鉄奈良駅前広場 【参加】奈良西養護学校生徒5人



◆みんなでがんばろうメッセージ◆

みなさん、こんにちは。

今日は、奈良西養護学校から5名で参加させていただきました。

私はこれまで赤い羽根共同募金について、あまり詳しく知りませんでした。私たちが住む町の、おじいさんおばあさん、障害のある人、子育て中の人などが暮らしやすくなるお手伝いをするために、みんなで少しずつ助け合うのだと知りました。

私たちが地域の一員として、地域のみなさんの役に立つことを一緒に考え、取り組んでいきたいと思っています。これからも共同募金運動を応援させていただきます。

奈良西養護学校高等部2年 神原 梨南

10月1日から3月31日まで、赤い羽根共同募金運動が展開されます。奈良西養護学校生徒は、ボランティア団体を代表して「がんばろうメッセージ」をアピールしました。

2020年カレンダー「白くまちゃんたち」～好評販売中～

～岸本亜矢子さん（香芝市在住、29歳）が口筆で描く～

岸本さんは高校2年生のとき、交通事故にあい首から下が不自由です。友だちへ口筆で絵を描いたのが始まりです。

壁掛けタイプ：2,000円 卓上タイプ：1,500円

【岸本さん】Fax 0745-77-4531

父親 090-3719-6492

メール kintamonta@zeus.eonet.ne.jp



アート展へ“心あたたかい寄付”ありがとうございます



企業、団体そして市民のみなさまの“心あたたかい寄付”のお陰で、アート展を開催できました。

みなさまのご支援に心から感謝いたします。ありがとうございます。

ご寄付は、チラシ、ポスター、ニュース印刷費、看板費等の運営費に充てさせていただきました。

NPO法人ならチャレンジド

◎収入 797,984円（企業、団体 660,000円 個人 137,984円）

◎支出 797,984円

キラリと輝く！特別支援学校アート展2019

563,390円

特別支援学校と病院を結ぶ！奈良県立医学附属病院アート展

234,594円

*県立医科大学は、上記とは別に、医大アート展チラシ、ポスター印刷費、看板費等を負担してくださいました。